



# NPO法人 報徳食品支援センター

**活動範囲:** 小田原市を拠点に県西2市8町を中心に活動。

**活動開始:** 2019年12月に発足、2020年2月から本格的活動開始。  
約2年半活動

**創設者兼初代理事長:** ヤオマサ会長の田嶋享

**現理事長:** 本岡俊郎（フードバンク事業10年以上の専門家）

**会員:** 会費を払い、当センターの活動を支える企業・個人で148名。

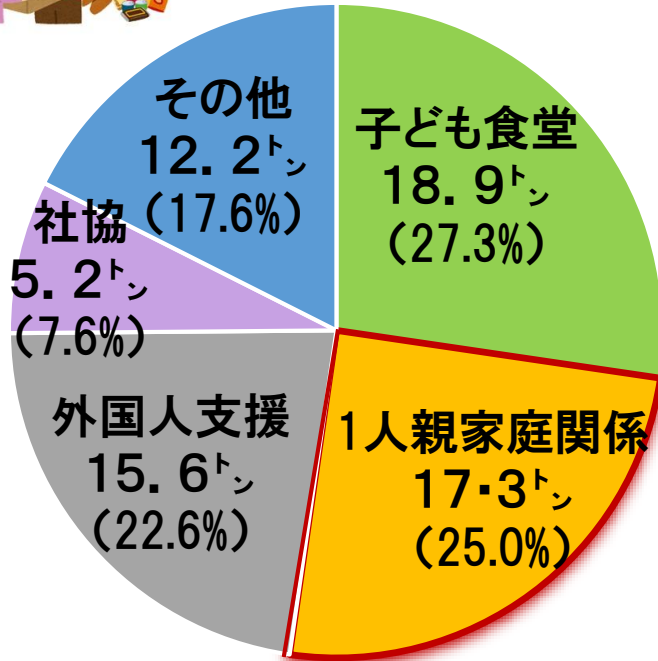
**活動状況:** 2020年2月活動開始時期に新型コロナの感染が広がり始め、観光業を中心に当該地域でも経済低迷が生じ、失業者も多く、生活困窮者が急増しており、「ひとり親家庭」等を中心に支援活動を行っております。（行政・社協・商工会議所等と連携）

# 報徳食品支援センターの活動実績



	2020年度		2021年度	
	受け入れ	配布	受け入れ	配布
総量	56.9トン	49.7トン	73.2トン	69.3トン
対象数	57社	107団体 約10千人相当	54社	110団体 約10千人相当
代表的組織	味の素AGF FBかながわ サンリオ 等	社協、行政 母子家庭関係 こども食堂 外国人支援関係 等	味の素AGF 全国食支援活動 協力会 FBかながわ 等	社協、行政 母子家庭関係 こども食堂 外国人支援関係 等

# ひとり親家庭への支援



神奈川県西地域では、観光業・飲食業等を支えている**シングルマザー層**が、不景気の影響をもろに受けています。

私たち報徳センターの対象者の**1/4強**の食品配布はこれらのひとり親家庭が対象です。そして喜ばれています。

親:「サラダ油やパスタなど、常に購入している食材が入っていたので嬉しかったです。小学生の息子はビニール袋に入ったお菓子を見て『おおっ!!』と喜びの声を上げていました。」

息子:「食べ物やお菓子ありがとうございました。お蔭で、朝・昼・おやつ・晩とお菓子が食べられたので夢のようでした。」

「シングルマザーでの初めての出産で、生活に不安が多い中、多くの食品を頂けたこと、本当に心強かったです。物価が上がり、苦しかったので助かりました。」

「離婚してちょうど一年が経とうとしていますが、つらかった頃の気持ちは今も残っています。こうして手を差し伸べてくれる方たちがいることで、いろいろ救われます。」

ささやかな

# 幸福を感じる美味しい食品 の提供を実現したい!!



頑張っているお母さんが元気が出るように  
お母さんの誕生日に、「普通の食品」にプラスして  
「ささやかな幸福を感じる美味しい食品」をお届けしたい。

安くおいしい、ちょっと普段と違う料理・お菓子等は当報徳センターからの  
特注で作っていただきます。

技術指導は、富士屋ホテル元料理課長の鈴木様他の専門家をお願いします。  
作るのは、地元の障がい児施設等も利用いたします。

このおいしいものサプライズの企画の実施の際には、  
「ハッピーバースデー ○○○様  
横浜銀行様のご支援によりこの企画が実施できました。」  
と伝えてまいります。



鈴木シェフ



横浜銀行様の  
〈はまぎん〉ミライを作るアクションプログラム  
の補助金によって、このプロジェクトを実現したい。

おねがいします

